

2019年度第二回交通まちづくり公開講座

サービス向上とPRに力を入れれば、バスはもっと利用してもらえるようになる。市民主体で生み出された京都市醍醐地区のコミュニティバスなど、全国の成功事例を紹介しながら、砺波市が取り組むデマンドタクシー「愛のりくん」をはじめとする砺波地方の地域交通のよりよい将来像を考えます。

◇日時 2020年1月25日(土)14:00～

◇場所 となみ散居村ミュージアム

◇内容

講演

・演題 「バスを活用した交通まちづくり」

・講師 松原 光也 氏

(全国バスマップサミット実行委員会事務局、

元京都大学大学院交通政策研究ユニット特定助教)

略歴:1969年、京都市生まれ。関西大学大学院文学研究科博士課程修了。2005年、関西大学政策グリッドコンピューティング実験センター・リサーチ・アシスタント。2009年、関西大学博士号(文学)取得(専門:交通地理学、GIS、観光、まちづくり)。2010年、京都大学大学院交通政策研究ユニット特定助教。2014年WILLER TRAINS(株)旅客部係長。市民団体での活動を長く続けており、RACDA 高岡(路面電車と都市の未来を考える会・高岡)、ROBA(ふくい路面電車とまちづくりの会)、金沢LRTと暮らしを考える会、加悦鐵道保存会、全国バスマップサミット実行委員会などに所属。著書に『地理情報システムによる公共交通の分析』(RCSS叢書第10巻,多賀出版)など。

解説 「砺波市の取り組み デマンドタクシー『愛のりくん』について」

・講師 森田 至彦氏(砺波市生活環境課生活交通係長)

パネルディスカッション

・パネリスト

松原光也氏(全国バスマップサミット実行委員会事務局、

元京都大学大学院交通政策研究ユニット特定助教)

満保秀雄氏(砺波市梅檀山地区自治振興会長)

牛古一善氏(砺波市般若地区自治振興会長)

山北 禎氏(となみ観光交通業務課長・統括運行管理者)

・コーディネーター

本田 豊氏(富山大学都市デザイン学部教授)

主催:呉西地区交通まちづくり市民会議 事務局:☎090-6273-3195

※ホームページに過去の講座の録画・資料を掲載しています。